

注3

大学番号：私136

[平成27年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

認可

神奈川工科大学 看護学部 看護学科

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人幾徳学園
平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	経営管理本部 総務課
職名・氏名	ソウムカチヨウ オガワ マナミ 総務課長・小川 真奈美
電話番号	046-241-1214
（夜間）	046-241-1214
F A X	046-241-6828
e-mail	soumu@kait.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に
()書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

- 3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

看護学部

<看護学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1－4
2. 授業科目の概要	5－17
3. 施設・設備の整備状況、経費	18－19
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	20－21
5. 教員組織の状況	22－46
6. 留意事項等に対する履行状況等	47
7. その他全般的事項	48－50

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人幾徳学園

(2) 大学名

神奈川工科大学

(3) 大学の位置

〒243-0292

神奈川県厚木市下荻野1030番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ナカベ ケンイチロウ) 中部 謙一郎 (平成14年8月)		
学長	(コミヤ カズミ) 小宮 一三 (平成21年4月)		
学部長	(ミサワ ヒサエ) 三澤 久恵 (平成27年4月)	(シバヤマ エミコ) 芝山 江美子 (平成29年4月)	学部長任期満了のため(29)
学科長等	(タムラ サチコ) 田村 幸子 (平成27年4月)	(シバヤマ エミコ) (タナカ テツコ) 芝山—江美子 田中 千鶴子 —(平成29年4月)— (平成30年4月)	学科長任期満了のため(29) 学科長任期満了のため(30)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
 (例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)
 平成30年度に報告する内容 → (30)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
看護学部 看護学科 学士(看護学)	保健衛生学関係(看護学関係)	4年	80人	0人	320人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	80人 (-) [-]	-	80人 (-) [-]	-	80人 (-) [-]	-	80人 (-) [-]	-	1.09倍	
志願者数	342 (-) [-]	-	326 (-) [-]	-	421 (-) [-]	-	513 (-) [-]	-		
受験者数	327 (-) [-]	-	309 (-) [-]	-	406 (-) [-]	-	495 (-) [-]	-		
合格者数	162 (-) [-]	-	189 (-) [-]	-	239 (-) [-]	-	197 (-) [-]	-		
B 入学者数	81 (-) [-]	-	93 (-) [-]	-	89 (-) [-]	-	88 (-) [-]	-		
入学定員超過率 B/A	1.01		1.16		1.11		1.10			

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年度で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	81 [-] (-)	- [-] (-)	93 [-] (-)	- [-] (-)	92 [-] (3)	- [-] (-)	88 [-] (-)	- [-] (-)	
2年次	/		80 [-] (-)	- [-] (-)	85 [-] (-)	- [-] (-)	89 [-] (1)	- [-] (-)	
3年次	/		/		80 [-] (-)	- [-] (-)	81 [-] (1)	- [-] (-)	
4年次	/		/		/		77 [-] (-)	- [-] (-)	
計	81 [-] (-)		173 [-] (-)		257 [-] (3)		335 [-] (2)		

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成27年度	81人	1人	平成27年度	1人	0人	学生個人の心身に関する事情(1人)
平成28年度	173人	2人	平成27年度	0人	0人	他の教育機関への入学・転学(2人)
			平成28年度	2人	0人	
平成29年度	263人	10人	平成27年度	2人	0人	他の教育機関への入学・転学(1人)、健康上の理由(1人)
			平成28年度	7人	0人	他の教育機関への入学・転学(3人)、健康上の理由(3人) ミスマッチ(1人)
			平成29年度	1人	0人	他の教育機関への入学・転学(1人)
平成30年度	335人	0人	平成27年度	0人	0人	
			平成28年度	0人	0人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
合計	852人	13人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{81} = \boxed{1.23} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{173} = \boxed{1.15} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{10}{263} = \boxed{3.80} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{335} = \boxed{0.00} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<看護学部 看護学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通基盤教育	スタディスキル	1前	1			8	4	0	0	0	
	生命倫理	1前		2							兼1
	現代社会講座	1前	2								兼7
	日本国憲法	1後・2前後		2							兼3
	社会参加とボランティア	1後・2前後		2							兼1
	国際化と異文化理解	1後・2前後		2							兼1
	環境論	1後・2前後		2							兼1
	哲学	2後・3前後		2							兼1
	倫理学	2後・3前後		2							兼1
	文学	2後・3前後		2							兼1
	教育学	2後・3前後		2							兼1
	心理学	2後・3前後		2							兼1
	政治学	2後・3前後		2							兼2
	経済学	2後・3前後		2							兼2
	法学	2後・3前後		2							兼2
	健康・スポーツ科学実習Ⅰ	1前		1							兼2
	健康・スポーツ科学実習Ⅱ	1後		1							兼2
	英語Ⅰ	1前		1							兼2
	英語Ⅱ	1前後		1							兼2
	英語Ⅲ	1前後		1							兼3
英語Ⅳ	1前後		1							兼3	
科学技術英語Ⅰ	3前	1								兼1	
科学技術英語Ⅱ	3後		1							兼1	
英会話Ⅰ	1前後		1							兼5	
英会話Ⅱ	1前後		1							兼4	
文章表現技術	1後	2								兼8	
プレゼンテーション技術	2前	2								兼5	
情報リテラシー	1前	2								兼1	
専門基礎導入・専門基礎科目	看護師のための数学基礎	1前		1							兼1
	看護師のための生物・化学基礎	1前		1							兼1
	形態機能学Ⅰ(運動器・神経系)	1前	2								兼1
	形態機能学Ⅱ(循環器・内臓系)	1後	2								兼1
	感染免疫学	1前	2								兼1
	病態学	1後	2								兼1
	薬理学	2前	2								兼1
	臨床栄養学	3前	2								兼1
	臨床心理学	3前	1								兼1
	疾病治療学Ⅰ(内科系)	1後	2								兼5
	疾病治療学Ⅱ(外科系)	2前	2								兼6
	疾病治療学Ⅲ(精神・老年)	2後	1								兼2
	疾病治療学Ⅳ(母性・小児)	2後	1								兼2
	社会福祉学	3前	2								兼1
	公衆衛生学	2後	1								兼1
	疫学Ⅰ	3前	1								兼1
	疫学Ⅱ	3前		1							兼1
	保健医療福祉行政論Ⅰ	3前	1								兼1
保健医療福祉行政論Ⅱ	3後		2							兼3	
保健統計学Ⅰ	3後	1								兼1	
保健統計学Ⅱ	4前		1							兼1	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通基盤教育	スタディスキル	1前	1			8	2	0	0	0	兼2
	生命倫理	1前		2							兼1
	現代社会講座	1前	2								兼7
	日本国憲法	1後・2前後		2							兼2
	社会参加とボランティア	1後・2前後		2							兼1
	国際化と異文化理解	1後・2前後		2							兼1
	環境論	1後・2前後		2							兼1
	哲学	2後・3前後		2							兼1
	倫理学	2後・3前後		2							兼1
	文学	2後・3前後		2							兼1
	教育学	2後・3前後		2							兼1
	心理学	2後・3前後		2							兼3
	政治学	2後・3前後		2							兼1
	経済学	2後・3前後		2							兼1
	法学	2後・3前後		2							兼2
	健康・スポーツ科学実習Ⅰ	1前		1							兼2
	健康・スポーツ科学実習Ⅱ	1後		1							兼2
	英語Ⅰ	1前		1							兼1
	英語Ⅱ	1前後		1							兼3
	英語Ⅲ	1前後		1							兼5
英語Ⅳ	1前後		1							兼2	
科学技術英語Ⅰ	3前	1								兼1	
科学技術英語Ⅱ	3後		1							兼1	
英会話Ⅰ	1前後		1							兼2	
英会話Ⅱ	1前後		1							兼2	
文章表現技術	1後	2								兼7	
プレゼンテーション技術	2前	2								兼6	
情報リテラシー	1前	2								兼2	
専門基礎導入・専門基礎科目	看護師のための数学基礎	1前		1							兼1
	看護師のための生物・化学基礎	1前		1							兼1
	形態機能学Ⅰ(運動器・神経系)	1前	2								兼1
	形態機能学Ⅱ(循環器・内臓系)	1後	2								兼1
	感染免疫学	1前	2								兼1
	病態学	1後	2								兼1
	薬理学	2前	2								兼1
	臨床栄養学	3前	2								兼1
	臨床心理学	3前	1								兼1
	疾病治療学Ⅰ(内科系)	1後	2								兼4
	疾病治療学Ⅱ(外科系)	2前	2								兼7
	疾病治療学Ⅲ(精神・老年)	2後	1								兼2
	疾病治療学Ⅳ(母性・小児)	2後	1								兼2
	社会福祉学	3前	2								兼1
	公衆衛生学	2後	1								兼1
	疫学Ⅰ	3前	1								兼1
	疫学Ⅱ	3前		1							兼1
	保健医療福祉行政論Ⅰ	3前	1								兼2
保健医療福祉行政論Ⅱ	3後		2			1				0	
保健統計学Ⅰ	3後	1								兼1	
保健統計学Ⅱ	4前		1							兼1	

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	基礎看護学概論	1前	2			1	1					
	看護倫理	2後	1			1						
	看護技術総論(基本技術)	1前	1			1	2	1				
	基礎看護技術Ⅰ(日常生活援助)	1通	2			1	2	1				
	基礎看護技術Ⅱ(ヘルスアセスメント)	1後	1			1	2	1				
	基礎看護技術Ⅲ(診療援助技術)	2前	2			1	2	1				
	基礎看護技術Ⅳ(看護過程)	2前	1			1	2	1				
	健康教育学	1後	1			1	1					
	看護のための人間工学	1前	1									兼1
	地域保健医療看護論	1後	1			1						
	基礎看護学実習Ⅰ(早期体験実習)	1前	1			1	2	6	4	10		
	基礎看護学実習Ⅱ(看護援助過程実習)	2後	2			1	2	6	4	10		
	成人看護学概論	1後	1			1						
	成人看護活動論Ⅰ(急性期)	1後	2			1		2				
	成人看護活動論Ⅱ(慢性期)	2前	2			2		2				
	成人看護活動論Ⅲ(成人看護技術)	2後	1			2		2				
	成人看護学実習Ⅰ(急性期)	3後-4前	3			2		2		2		
	成人看護学実習Ⅱ(慢性期)	3後-4前	3			2		2		2		
	老年看護学概論	1後	1			1						
老年看護活動論Ⅰ	2前	2			1		1	1				
老年看護活動論Ⅱ	2後	1			1		1	1				
老年看護学実習Ⅰ(地域)	3前	1			1		2	1	1			
老年看護学実習Ⅱ(施設)	3後-4前	1			1		1	1	1			
老年看護学実習Ⅲ(病棟)	3後-4前	2			1		1	1	1			
小児看護学概論	2前	1			1							
小児看護活動論Ⅰ	2後	2			1		1					
小児看護活動論Ⅱ	3前	1			1		1					
小児看護学実習Ⅰ(発達援助)	3前	1			1		1		1			
小児看護学実習Ⅱ(療養)	3後-4前	1			1		1		1			
母性看護学概論	2前	1			1							
母性看護活動論Ⅰ	2後	2			1			1				
母性看護活動論Ⅱ	3前	1			1			1				
母性看護学実習	3後-4前	2			1			1	1			
精神看護学概論	2前	1				1					兼1	
精神看護活動論Ⅰ	2後	2				1			1			
精神看護活動論Ⅱ	3前	1				1			1			
精神看護学実習	3後-4前	2				1			1	1		
在宅看護学概論	2前	1			1							
在宅看護活動論Ⅰ	2後	2			1		1	1				
在宅看護活動論Ⅱ	3前	1			1		1	1				
在宅看護学実習	3後-4前	2			1		1	1	1			
医療安全学	3前	1									兼2	
看護管理学	3前		1								兼2	
国際看護学	4後		1								兼1	
家族看護学	4前		1		1							
認知症ケア論	4前		1		1	1						
スピリチュアルケア論	4後		1		1						兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	基礎看護学概論	1前	2			1	0					
	看護倫理	2後	1			1						
	看護技術総論(基本技術)	1前	1			1	1	2	1			
	基礎看護技術Ⅰ(日常生活援助)	1通	2			1	1	2	1			
	基礎看護技術Ⅱ(ヘルスアセスメント)	1後	1			1	1	2	1			
	基礎看護技術Ⅲ(診療援助技術)	2前	2			1	1	2	1			
	基礎看護技術Ⅳ(看護過程)	2前	1			1	1	2	1			
	健康教育学	1後	1			1	0					
	看護のための人間工学	1前	1									兼1
	地域保健医療看護論	1後	1			1						
	基礎看護学実習Ⅰ(早期体験実習)	1前	1			1	1	6	3	10		
	基礎看護学実習Ⅱ(看護援助過程実習)	2後	2			1	1	6	3	10		
	成人看護学概論	1後	1			1						
	成人看護活動論Ⅰ(急性期)	1後	2				0	2	1			
	成人看護活動論Ⅱ(慢性期)	2前	2				1	1	1			
	成人看護活動論Ⅲ(成人看護技術)	2後	1				1	1	1			
	成人看護学実習Ⅰ(急性期)	3後-4前	3				1	1	1		2	
	成人看護学実習Ⅱ(慢性期)	3後-4前	3				1		1		2	
	老年看護学概論	1後	1			1						
老年看護活動論Ⅰ	2前	2			1		2	0				
老年看護活動論Ⅱ	2後	1			1		2	0				
老年看護学実習Ⅰ(地域)	3前	1			1		2	1	1			
老年看護学実習Ⅱ(施設)	3後-4前	1			1		2	0	1			
老年看護学実習Ⅲ(病棟)	3後-4前	2			1		2	0	1			
小児看護学概論	2前	1			1							
小児看護活動論Ⅰ	2後	2			1		1					
小児看護活動論Ⅱ	3前	1			1		1					
小児看護学実習Ⅰ(発達援助)	3前	1			1		1		1			
小児看護学実習Ⅱ(療養)	3後-4前	1			1		1		1			
母性看護学概論	2前	1			1							
母性看護活動論Ⅰ	2後	2			1				1			
母性看護活動論Ⅱ	3前	1			1				1			
母性看護学実習	3後-4前	2			1				1	1		
精神看護学概論	2前	1				0					兼1	
精神看護活動論Ⅰ	2後	2				0			1			
精神看護活動論Ⅱ	3前	1				0			1		兼1	
精神看護学実習	3後-4前	2				0			1	1		
在宅看護学概論	2前	1			1							
在宅看護活動論Ⅰ	2後	2			1		0	0				
在宅看護活動論Ⅱ	3前	1			1		0	0				
在宅看護学実習	3後-4前	2			1		0	0		1		
医療安全学	3前	1									兼1	
看護管理学	3前		1			1					0	
国際看護学	4後		1			1					0	
家族看護学	4前		1		1							
認知症ケア論	4前		1		1	0						
スピリチュアルケア論	4後		1		1						0	

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	実践総合演習(OSCE)	3前	1			8	4	6	4		
	看護統合実習	4後	2			8	4	6	4	10	
	専門職間連携活動論	4後	1			1	1				兼1
	医療機器と在宅技術Ⅰ	3前	1								兼1
	医療機器と在宅技術Ⅱ	4前	1								
	災害看護学	2後	1			1					
	災害看護活動論	3後	1			1					兼1
	看護研究Ⅰ	3前	2			2					
	看護研究Ⅱ	4通	2			8	4				
	公衆衛生看護学概論	2前	1			1					
	公衆衛生看護活動論	3前		2		1	1				
	公衆衛生看護管理論	4前		1		1	1				
	学校看護学	3前		1							兼1
	産業看護学	3後		1							兼1
	公衆衛生看護技術論	3後		1		1	1				
産業・学校看護学実習	4前		1		2		1		1		
公衆衛生看護学実習	4後		4		1	1	1		1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	実践総合演習(OSCE)	3前	1			8	2	6	3		
	看護統合実習	4後	2			8	2	6	3	10	
	専門職間連携活動論	4後	1			1	0				兼4
	医療機器と在宅技術Ⅰ	3前	1								兼4
	医療機器と在宅技術Ⅱ	4前	1								
	災害看護学	2後	1			0	1				
	災害看護活動論	3後	1			0	1				兼1
	看護研究Ⅰ	3前	2			2					
	看護研究Ⅱ	4通	2			8	2				
	公衆衛生看護学概論	2前	1			1					
	公衆衛生看護活動論	3前		2		1	0				
	公衆衛生看護管理論	4前		1		1	0				
	学校看護学	3前		1							兼1
	産業看護学	3後		1							兼1
	公衆衛生看護技術論	3後		1		1	0				
産業・学校看護学実習	4前		1		2		0		1		
公衆衛生看護学実習	4後		4		1	0	0		1		

【平成27年度】

【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通基盤教育	スタディスキル	1前	1			6	4	0	0	0	
	生命倫理	1前		2							兼1
	現代社会講座	1前	2								兼7
	日本国憲法	1後・2前後	2								兼2
	社会参加とボランティア	1後・2前後	2								兼1
	国際化と異文化理解	1後・2前後	2								兼1
	環境論	1後・2前後	2								兼1
	哲学	2後・3前後	2								兼1
	倫理学	2後・3前後	2								兼1
	文学	2後・3前後	2								兼1
	教育学	2後・3前後	2								兼1
	心理学	2後・3前後	2								兼1
	政治学	2後・3前後	2								兼2
	経済学	2後・3前後	2								兼2
	法学	2後・3前後	2								兼2
	健康・スポーツ科学実習Ⅰ	1前	1								兼2
	健康・スポーツ科学実習Ⅱ	1後	1								兼2
	英語Ⅰ	未開講	1								0
	英語Ⅱ	1前後	1								兼2
	英語Ⅲ	1前後	1								兼2
	英語Ⅳ	1前後	1								兼1
	科学技術英語Ⅰ	3前	1								兼1
	科学技術英語Ⅱ	3後	1								兼1
	英会話Ⅰ	1前後	1								兼6
	英会話Ⅱ	1前後	1								兼4
	文章表現技術	1後	2								兼4
プレゼンテーション技術	2前	2								兼5	
情報リテラシー	1前	2								兼2	
専門基礎導入・専門基礎科目	看護師のための数学基礎	1前		1							兼1
	看護師のための生物・化学基礎	1前		1							兼1
	形態機能学Ⅰ(運動器・神経系)	1前	2								兼1
	形態機能学Ⅱ(循環器・内臓系)	1後	2								兼1
	感染免疫学	1前	2								兼1
	病態学	1後	2								兼1
	薬理学	2前	2								兼1
	臨床栄養学	3前	2								兼1
	臨床心理学	3前	1								兼1
	疾病治療学Ⅰ(内科系)	1後	2								兼5
	疾病治療学Ⅱ(外科系)	2前	2								兼6
	疾病治療学Ⅲ(精神・老年)	2後	1								兼2
	疾病治療学Ⅳ(母性・小児)	2後	1								兼2
	社会福祉学	3前	2								兼1
	公衆衛生学	2後	1								兼1
	疫学Ⅰ	3前	1								兼1
	疫学Ⅱ	3前	1								兼1
	保健医療福祉行政論Ⅰ	3前	1								兼1
	保健医療福祉行政論Ⅱ	3後	2								兼3
	保健統計学Ⅰ	3後	1								兼1
保健統計学Ⅱ	4前	1								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通基盤教育	スタディスキル	1前	1			6	4	0	0	0	
	生命倫理	1前		2							兼1
	現代社会講座	1前	2								兼7
	日本国憲法	1後・2前後	2								兼2
	社会参加とボランティア	1後・2前後	2								兼1
	国際化と異文化理解	1後・2前後	2								兼1
	環境論	1後・2前後	2								兼1
	哲学	2後・3前後	2								兼1
	倫理学	2後・3前後	2								兼1
	文学	2後・3前後	2								兼1
	教育学	2後・3前後	2								兼1
	心理学	2後・3前後	2								兼1
	政治学	2後・3前後	2								兼2
	経済学	2後・3前後	2								兼2
	法学	2後・3前後	2								兼2
	健康・スポーツ科学実習Ⅰ	1前	1								兼2
	健康・スポーツ科学実習Ⅱ	1後	1								兼2
	英語Ⅰ	1前	1								兼2
	英語Ⅱ	1前後	1								兼4
	英語Ⅲ	1前後	1								兼5
	英語Ⅳ	1前後	1								兼1
	科学技術英語Ⅰ	3前	1								兼1
	科学技術英語Ⅱ	3後	1								兼1
	英会話Ⅰ	1前後	1								兼2
	英会話Ⅱ	1前後	1								兼2
	文章表現技術	1後	2								兼4
プレゼンテーション技術	2前	2								兼4	
情報リテラシー	1前	2								兼2	
専門基礎導入・専門基礎科目	看護師のための数学基礎	1前		1							兼1
	看護師のための生物・化学基礎	1前		1							兼1
	形態機能学Ⅰ(運動器・神経系)	1前	2								兼1
	形態機能学Ⅱ(循環器・内臓系)	1後	2								兼1
	感染免疫学	1前	2								兼1
	病態学	1後	2								兼1
	薬理学	2前	2								兼1
	臨床栄養学	3前	2								兼1
	臨床心理学	3前	1								兼1
	疾病治療学Ⅰ(内科系)	1後	2								兼5
	疾病治療学Ⅱ(外科系)	2前	2								兼6
	疾病治療学Ⅲ(精神・老年)	2後	1								兼2
	疾病治療学Ⅳ(母性・小児)	2後	1								兼2
	社会福祉学	3前	2								兼1
	公衆衛生学	2後	1								兼1
	疫学Ⅰ	3前	1								兼1
	疫学Ⅱ	3前	1								兼1
	保健医療福祉行政論Ⅰ	3前	1								兼1
	保健医療福祉行政論Ⅱ	3後	2								兼3
	保健統計学Ⅰ	3後	1								兼1
保健統計学Ⅱ	4前	1								兼1	

【平成27年度】

【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	基礎看護学概論	1前	2			1	1						
	看護倫理	2後	1			1							
	看護技術総論(基本技術)	1前	1			1	2	1					
	基礎看護技術Ⅰ(日常生活援助)	1通	2			1	2	1					
	基礎看護技術Ⅱ(ヘルスアセスメント)	1後	1			1	2	1					
	基礎看護技術Ⅲ(診療援助技術)	2前	2			1	2	1					
	基礎看護技術Ⅳ(看護過程)	2前	1			1	2	1					
	健康教育学	1後	1			0	1						
	看護のための人間工学	1前	1										兼1
	地域保健医療看護論	1後	1			0							
	基礎看護学実習Ⅰ(早期体験実習)	1前	1			1	2	4	3	10			
	基礎看護学実習Ⅱ(看護援助過程実習)	2後	2			1	2	5	3	10			
	成人看護学概論	1後	1			1							
	成人看護活動論Ⅰ(急性期)	1後	2			1		2					
	成人看護活動論Ⅱ(慢性期)	2前	2			2		2					
	成人看護活動論Ⅲ(成人看護技術)	2後	1			2		2					
	成人看護学実習Ⅰ(急性期)	3後-4前	3			2		2		2			
	成人看護学実習Ⅱ(慢性期)	3後-4前	3			2		2		2			
	老年看護学概論	1後	1			1							
	老年看護活動論Ⅰ	2前	2			1		1	1				
老年看護活動論Ⅱ	2後	1			1		1	1					
老年看護学実習Ⅰ(地域)	3前	1			1		2	1	1				
老年看護学実習Ⅱ(施設)	3後-4前	1			1		1	1	1				
老年看護学実習Ⅲ(病棟)	3後-4前	2			1		1	1	1				
小児看護学概論	2前	1			1								
小児看護活動論Ⅰ	2後	2			1		1						
小児看護活動論Ⅱ	3前	1			1		1						
小児看護学実習Ⅰ(発達援助)	3前	1			1		1		1				
小児看護学実習Ⅱ(療養)	3後-4前	1			1		1		1				
母性看護学概論	2前	1			1								
母性看護活動論Ⅰ	2後	2			1			0					
母性看護活動論Ⅱ	3前	1			1			0					
母性看護学実習	3後-4前	2			1			0	1				
精神看護学概論	2前	1				1						兼1	
精神看護活動論Ⅰ	2後	2				1			1				
精神看護活動論Ⅱ	3前	1				1			1				
精神看護学実習	3後-4前	2				1			1	1			
在宅看護学概論	2前	1			1								
在宅看護活動論Ⅰ	2後	2			1		0	1					
在宅看護活動論Ⅱ	3前	1			1		0	1					
在宅看護学実習	3後-4前	2			1		0	1	1				
医療安全学	3前	1										兼2	
看護管理学	3前		1									兼2	
国際看護学	4後		1									兼1	
家族看護学	4前		1		1								
認知症ケア論	4前		1		1	1							
スピリチュアルケア論	4後		1		1							兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	基礎看護学概論	1前	2			0	0						兼1
	看護倫理	2後	1			1							
	看護技術総論(基本技術)	1前	1			0	2	0					
	基礎看護技術Ⅰ(日常生活援助)	1通	2			0	2	0					兼1
	基礎看護技術Ⅱ(ヘルスアセスメント)	1後	1			0	2	0					
	基礎看護技術Ⅲ(診療援助技術)	2前	2			0	2	0					兼1
	基礎看護技術Ⅳ(看護過程)	2前	1			0	2	0					
	健康教育学	1後	1			1	1						
	看護のための人間工学	1前	1										兼1
	地域保健医療看護論	1後	1			1							
	基礎看護学実習Ⅰ(早期体験実習)	1前	1			0	2	3	2	10			
	基礎看護学実習Ⅱ(看護援助過程実習)	2後	2			0	2	3	2	10			
	成人看護学概論	1後	1			2							
	成人看護活動論Ⅰ(急性期)	1後	2			1	1	1					
	成人看護活動論Ⅱ(慢性期)	2前	2			2		1					
	成人看護活動論Ⅲ(成人看護技術)	2後	1			2		1					
	成人看護学実習Ⅰ(急性期)	3後-4前	3			2		1		2			
	成人看護学実習Ⅱ(慢性期)	3後-4前	3			2		1		2			
	老年看護学概論	1後	1			1							
	老年看護活動論Ⅰ	2前	2			1		1	1				
老年看護活動論Ⅱ	2後	1			1		1	1					
老年看護学実習Ⅰ(地域)	3前	1			1		1	1	1				
老年看護学実習Ⅱ(施設)	3後-4前	1			1		1	1	1				
老年看護学実習Ⅲ(病棟)	3後-4前	2			1		1	1	1				
小児看護学概論	2前	1			0							兼1	
小児看護活動論Ⅰ	2後	2			0		1						
小児看護活動論Ⅱ	3前	1			0		1						
小児看護学実習Ⅰ(発達援助)	3前	1			0		1		1				
小児看護学実習Ⅱ(療養)	3後-4前	1			0		1		1				
母性看護学概論	2前	1			1								
母性看護活動論Ⅰ	2後	2			1				0				
母性看護活動論Ⅱ	3前	1			1				0				
母性看護学実習	3後-4前	2			1				0	1			
精神看護学概論	2前	1				1						兼1	
精神看護活動論Ⅰ	2後	2				1			1				
精神看護活動論Ⅱ	3前	1				1			1				
精神看護学実習	3後-4前	2				1			1	1			
在宅看護学概論	2前	1			1								
在宅看護活動論Ⅰ	2後	2			1		0	0					
在宅看護活動論Ⅱ	3前	1			1		0	0					
在宅看護学実習	3後-4前	2			1		0	0		1			
医療安全学	3前	1										兼2	
看護管理学	3前		1									兼2	
国際看護学	4後		1		1							0	
家族看護学	4前		1		0								
認知症ケア論	4前		1		1	1							
スピリチュアルケア論	4後		1		1							兼1	

【平成27年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	実践総合演習(OSCE)	3前	1			7	4	5	3			
	看護統合実習	4後	2			7	4	5	3	10		
	専門職間連携活動論	4後	1			0	1					
	医療機器と在宅技術Ⅰ	3前	1									兼1
	医療機器と在宅技術Ⅱ	4前	1									兼1
	災害看護学	2後	1			1						
	災害看護活動論	3後	1			1						兼1
	看護研究Ⅰ	3前	2			2						
	看護研究Ⅱ	4通	2			7	4					
	公衆衛生看護学概論	2前	1			0						
	公衆衛生看護学活動論	3前		2		0	1					
	公衆衛生看護学管理論	4前		1		0	1					
	学校看護学	3前		1								兼1
	産業看護学	3後		1								兼1
	公衆衛生看護学技術論	3後		1		0	1					
	産業・学校看護学実習	4前		1		1		1		1		
公衆衛生看護学実習	4後		4		0	1	1		1			

【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	実践総合演習(OSCE)	3前	1			6	4	2	2			
	看護統合実習	4後	2			6	4	2	2	10		
	専門職間連携活動論	4後	1			1	1					
	医療機器と在宅技術Ⅰ	3前	1									兼1
	医療機器と在宅技術Ⅱ	4前	1									兼1
	災害看護学	2後	1			0						
	災害看護活動論	3後	1			0						兼1
	看護研究Ⅰ	3前	2			2						
	看護研究Ⅱ	4通	2			6	4					
	公衆衛生看護学概論	2前	1			1						
	公衆衛生看護学活動論	3前		2		1	1					
	公衆衛生看護学管理論	4前		1		1	1					
	学校看護学	3前		1								兼1
	産業看護学	3後		1								兼1
	公衆衛生看護学技術論	3後		1		1	1					
	産業・学校看護学実習	4前		1		2		0		1		
公衆衛生看護学実習	4後		4		1	1	0		1			

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通基盤教育	スタディスキル	1前	1			6	5	0	0	0	
	生命倫理	1前		2							兼1
	現代社会講座	1前	2								兼7
	日本国憲法	1後・2前後		2							兼2
	社会参加とボランティア	1後・2前後		2							兼1
	国際化と異文化理解	1後・2前後		2							兼1
	環境論	1後・2前後		2							兼1
	哲学	2後・3前後		2							兼1
	倫理学	2後・3前後		2							兼1
	文学	2後・3前後		2							兼1
	教育学	2後・3前後		2							兼1
	心理学	2後・3前後		2							兼1
	政治学	2後・3前後		2							兼2
	経済学	2後・3前後		2							兼2
	法学	2後・3前後		2							兼2
	健康・スポーツ科学実習Ⅰ	1前		1							兼2
	健康・スポーツ科学実習Ⅱ	1後		1							兼2
	英語Ⅰ	1前		1							兼2
	英語Ⅱ	1前後		1							兼5
	英語Ⅲ	1前後		1							兼5
	英語Ⅳ	1前後		1							兼2
	科学技術英語Ⅰ	3前	1								兼1
	科学技術英語Ⅱ	3後		1							兼1
	英会話Ⅰ	1前後		1							兼2
	英会話Ⅱ	1前後		1							兼2
	文章表現技術	1後	2								兼4
プレゼンテーション技術	2前	2								兼4	
情報リテラシー	1前	2								兼2	
専門基礎導入・専門基礎科目	看護師のための数学基礎	1前		1							兼1
	看護師のための生物・化学基礎	1前		1							兼1
	形態機能学Ⅰ(運動器・神経系)	1前	2								兼1
	形態機能学Ⅱ(循環器・内臓系)	1後	2								兼1
	感染免疫学	1前	2								兼1
	病態学	1後	2								兼1
	薬理学	2前	2								兼1
	臨床栄養学	3前	2								兼1
	臨床心理学	3前	1								兼1
	疾病治療学Ⅰ(内科系)	1後	2								兼6
	疾病治療学Ⅱ(外科系)	2前	2								兼7
	疾病治療学Ⅲ(精神・老年)	2後	1								兼2
	疾病治療学Ⅳ(母性・小児)	2後	1								兼2
	社会福祉学	3前	2								兼1
	公衆衛生学	2後	1								兼1
	疫学Ⅰ	3前	1								兼1
	疫学Ⅱ	3前		1							兼1
	保健医療福祉行政論Ⅰ	3前	1								兼1
	保健医療福祉行政論Ⅱ	3後		2							兼2
	保健統計学Ⅰ	3後	1								兼1
保健統計学Ⅱ	4前		1							兼1	

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	基礎看護学概論	1前	2			1	0					
	看護倫理	2後	1			1						
	看護技術総論 (基本技術)	1前	1			1	1	2	1			
	基礎看護技術Ⅰ (日常生活援助)	1通	2			1	1	2	1			
	基礎看護技術Ⅱ (ヘルスアセスメント)	1後	1			1	1	2	1			
	基礎看護技術Ⅲ (診療援助技術)	2前	2			1	1	2	1			
	基礎看護技術Ⅳ (看護過程)	2前	1			1	1	2	1			
	健康教育学	1後	1			1	1					
	看護のための人間工学	1前	1									兼1
	地域保健医療看護論	1後	1			1						
	基礎看護学実習Ⅰ (早期体験実習)	1前	1			1	1	7	4	10		
	基礎看護学実習Ⅱ (看護援助過程実習)	2後	2			1	1	7	4	10		
	成人看護学概論	1後	1			1						
	成人看護活動論Ⅰ (急性期)	1後	2			0	2	2				
	成人看護活動論Ⅱ (慢性期)	2前	2			1	1	1				
	成人看護活動論Ⅲ (成人看護技術)	2後	1			1	1	2				
	成人看護学実習Ⅰ (急性期)	3後-4前	3			1	1	2		2		
	成人看護学実習Ⅱ (慢性期)	3後-4前	3			1	1	1		2		
	老年看護学概論	1後	1			1						
	老年看護活動論Ⅰ	2前	2			1		1	1			
	老年看護活動論Ⅱ	2後	1			1		1	1			
	老年看護学実習Ⅰ (地域)	3前	1			1		1	1	1		
	老年看護学実習Ⅱ (施設)	3後-4前	1			1		1	1	1		
	老年看護学実習Ⅲ (病棟)	3後-4前	2			1		1	1	1		
	小児看護学概論	2前	1			1						
	小児看護活動論Ⅰ	2後	2			1		1				
	小児看護活動論Ⅱ	3前	1			1		1				
	小児看護学実習Ⅰ (発達援助)	3前	1			1		1		1		
	小児看護学実習Ⅱ (療養)	3後-4前	1			1		1		1		
	母性看護学概論	2前	1			0	1					
	母性看護活動論Ⅰ	2後	2			0	1		1			
	母性看護活動論Ⅱ	3前	1			0	1		1			
	母性看護学実習	3後-4前	2			0	1		1	1		
	精神看護学概論	2前	1				1					兼1
	精神看護活動論Ⅰ	2後	2				1		1			
	精神看護活動論Ⅱ	3前	1				1		1			
	精神看護学実習	3後-4前	2				1		1	1		
	在宅看護学概論	2前	1			1						
	在宅看護活動論Ⅰ	2後	2			1		0	0			
	在宅看護活動論Ⅱ	3前	1			1		0	0			
	在宅看護学実習	3後-4前	2			1		0	0	1		
	医療安全学	3前	1									兼1
	看護管理学	3前		1								兼1
	国際看護学	4後		1		1						0
	家族看護学	4前		1		1						
認知症ケア論	4前		1		1	1						
スピリチュアルケア論	4後		1		1	1					0	

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	実践総合演習(OSCE)	3前	1			6	5	2	2			
	看護統合実習	4後	2			6	5	2	2	10		
	専門職間連携活動論	4後	1			1	1					
	医療機器と在宅技術Ⅰ	3前	1									兼4
	医療機器と在宅技術Ⅱ	4前	1									兼1
	災害看護学	2後	1			0		1				
	災害看護活動論	3後	1			0		1				0
	看護研究Ⅰ	3前	2			2						
	看護研究Ⅱ	4通	2			6	5					
	公衆衛生看護学概論	2前	1			1						
	公衆衛生看護活動論	3前		2		1	1					
	公衆衛生看護管理論	4前		1		1	1					
	学校看護学	3前		1								兼1
	産業看護学	3後		1								兼1
	公衆衛生看護技術論	3後		1		1	1					
	産業・学校看護学実習	4前		1		2		0		1		
	公衆衛生看護学実習	4後		4		1	1	0		1		

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【平成27年度】

- ・「スタディスキル」担当教員辞退のため、教授8名から6名に変更。
- ・「日本国憲法」担当兼任教員辞退のため、3名から2名に変更
- ・「英語Ⅰ」1前から未開講座に変更。プレイメントテスト結果により「英語Ⅱ」からのスタートとする。兼任教員も0名に変更。
- ・「英語Ⅲ」担当兼任教員辞退のため、3名から2名に変更。
- ・「英語Ⅳ」担当兼任教員辞退のため、3名から1名に変更。
- ・「英会話Ⅰ」担当兼任教員追加のため、5名から6名に変更。
- ・「文章表現技術」担当兼任教員辞退のため、8名から4名に変更。
- ・「情報リテラシー」担当兼任教員追加のため、1名から2名に変更。
- ・「健康教育学」担当教員辞退のため、教授1名から0名に変更。
- ・「地域保健医療看護論」担当教員辞退のため、教授1名から0名に変更。
- ・「基礎看護学実習Ⅰ」担当教員辞退のため、講師6名から4名に変更。また同理由により助教4名から3名に変更。
- ・「基礎看護学実習Ⅱ」担当教員辞退のため、講師6名から5名に変更。また同理由により助教4名から3名に変更。
- ・「母性看護活動論Ⅰ」担当教員辞退のため、助教1名から0名に変更。
- ・「母性看護活動論Ⅱ」担当教員辞退のため、助教1名から0名に変更。
- ・「母性看護学実習」担当教員辞退のため、助教1名から0名に変更。
- ・「在宅看護活動論Ⅰ」担当教員辞退のため、講師1名から0名に変更。
- ・「在宅看護活動論Ⅱ」担当教員辞退のため、講師1名から0名に変更。
- ・「在宅看護学実習」担当教員辞退のため、講師1名から0名に変更。
- ・「実践統合実習(OSCE)」担当教員辞退のため、教授8名から7名に変更。同理由により講師6名から5名へ、助教4名から3名に変更。
- ・「看護統合実習」担当教員辞退のため、教授8名から7名に変更。同理由により講師6名から5名へ、助教4名から3名に変更。
- ・「専門職間連携活動論」担当教員辞退のため、教授1名から0名に変更。
- ・「看護研究Ⅱ」担当教員辞退のため、教授8名から7名。
- ・「公衆衛生看護学概論」担当教員辞退のため、教授1名から0名。
- ・「公衆衛生看護活動論」担当教員辞退のため、教授1名から0名。
- ・「公衆衛生看護管理論」担当教員辞退のため、教授1名から0名。
- ・「公衆衛生看護技術論」担当教員辞退のため、教授1名から0名。
- ・「産業・学校看護学実習」担当教員辞退のため、教授2名から1名。
- ・「公衆衛生看護学実習」担当教員辞退のため、教授1名から0名。

【平成28年度】

- ・「英語Ⅰ」未開講座から通常開講(1年前期)に変更。担当兼任教員0名から2名に変更。
- ・「英語Ⅱ」担当兼任教員追加のため、2名から4名に変更。
- ・「英語Ⅲ」担当兼任教員追加のため、2名から5名に変更。
- ・「英会話Ⅰ」担当兼任教員辞退のため、6名から2名に変更。
- ・「英会話Ⅱ」担当兼任教員辞退のため、4名から2名に変更。
- ・「プレゼンテーション技術」担当兼任教員辞退のため、5名から4名に変更。
- ・「基礎看護学概論」担当教員辞任のため、教授1名から0名に変更。また同理由により准教授1名から0名に変更。兼任1名追加。
- ・「看護技術総論」担当教員辞任のため、教授1名から0名に変更。また同理由により講師1名から0名に変更。
- ・「基礎看護技術Ⅰ」担当教員辞任のため、教授1名から0名に変更。また同理由により講師1名から0名に変更。兼任1名追加。
- ・「基礎看護技術Ⅱ」担当教員辞任のため、教授1名から0名に変更。また同理由により講師1名から0名に変更。
- ・「基礎看護技術Ⅲ」担当教員辞任のため、教授1名から0名に変更。また同理由により講師1名から0名に変更。兼任1名追加。
- ・「基礎看護技術Ⅳ」担当教員辞任のため、教授1名から0名に変更。また同理由により講師1名から0名に変更。
- ・「健康教育学」担当教員追加のため、教授0名から1名に変更。
- ・「地域保健医療看護論」担当教員追加のため、教授0名から1名に変更。
- ・「基礎看護学実習Ⅰ」担当教員辞任のため、教授1名から0名に変更。また同理由により講師4名から3名へ、助教3名から2名に変更。
- ・「基礎看護学実習Ⅱ」担当教員辞任のため、教授1名から0名に変更。また同理由により講師5名から3名へ、助教3名から2名に変更。
- ・「成人看護学概論」担当教員追加のため、教授1名から2名に変更。
- ・「成人看護活動論Ⅰ」担当教員の昇格のため、准教授1名追加、講師2名から1名に変更。
- ・「成人看護活動論Ⅱ」担当教員の辞任のため、講師2名から1名に変更。
- ・「成人看護活動Ⅲ」担当教員の辞任のため、講師2名から1名に変更。
- ・「成人看護学実習Ⅰ」担当教員の辞任のため、講師2名から1名に変更。
- ・「成人看護学実習Ⅱ」担当教員の辞任のため、講師2名から1名に変更。
- ・「老年看護学実習Ⅰ」担当教員の辞任のため、講師2名から1名に変更。
- ・「小児看護学概論」担当教員の辞退のため、教授1名から0名に変更。兼任1名追加。
- ・「小児看護活動論Ⅰ」担当教員の辞退のため、教授1名から0名に変更。
- ・「小児看護活動論Ⅱ」担当教員の辞退のため、教授1名から0名に変更。
- ・「小児看護学実習Ⅰ」担当教員の辞退のため、教授1名から0名に変更。
- ・「小児看護学実習Ⅱ」担当教員の辞退のため、教授1名から0名に変更。
- ・「在宅看護活動論Ⅰ」担当教員辞任のため、助教1名から0名に変更。
- ・「在宅看護活動論Ⅱ」担当教員辞任のため、助教1名から0名に変更。
- ・「在宅看護学実習」担当教員辞任のため、助教1名から0名に変更。
- ・「国際看護学」担当教員追加のため、教授0名から1名に変更。また、兼任教員1名から0名に変更。
- ・「家族看護学」担当教員辞任のため、教授1名から0名に変更。
- ・「実践総合演習(OSCE)」担当教員辞任のため、教授7名から6名に変更。また同理由により講師5名から2名へ、助教3名から2名に変更。
- ・「看護統合実習」担当教員辞任のため、教授7名から6名に変更。また同理由により講師5名から2名へ、助教3名から2名に変更。
- ・「専門職間連携活動論」担当教員追加のため、教授0名から1名に変更。
- ・「災害看護学」担当教員辞任のため、教授1名から0名に変更。
- ・「災害看護活動論」担当教員辞任のため、教授1名から0名に変更。
- ・「看護研究Ⅱ」担当教員辞任のため、教授7名から6名に変更。
- ・「公衆衛生看護学概論」担当教員追加のため、教授0名から1名に変更。
- ・「公衆衛生看護活動論」担当教員追加のため、教授0名から1名に変更。
- ・「公衆衛生看護管理論」担当教員追加のため、教授0名から1名に変更。
- ・「公衆衛生看護技術論」担当教員追加のため、教授0名から1名に変更。
- ・「産業・学校看護学実習」担当教員追加のため、教授1名から2名に変更。また担当教員辞任のため、講師1名から0名に変更。
- ・「公衆衛生看護学実習」担当教員追加のため、教授0名から1名に変更。また担当教員辞任のため、講師1名から0名に変更。

【平成29年度】

- ・「スタディスキル」担当教員追加のため、准教授4名から5名に変更。
- ・「英語Ⅱ」担当兼任教員追加のため、4名から5名に変更。
- ・「英語Ⅳ」担当兼任教員追加のため、1名から2名に変更。
- ・「疾病治療学Ⅰ」担当兼任教員追加のため、5名から6名に変更。
- ・「疾病治療学Ⅱ」担当兼任教員追加のため、6名から7名に変更。
- ・「保健医療福祉行政論」担当兼任教員辞退のため、3名から2名に変更。
- ・「基礎看護学概論」担当教員追加のため、教授0名から1名に変更。担当兼任教員1名から0名に変更。
- ・「看護技術総論」担当教員追加のため、教授0名から1名に変更。また同理由により講師0名から2名へ、助教0名から1名に変更。担当教員辞任のため、准教授2名から1名に変更。
- ・「基礎看護技術Ⅰ」担当教員追加のため、教授0名から1名に変更。また同理由により講師0名から2名へ、助教0名から1名に変更。担当教員辞任のため、准教授2名から1名に変更。担当兼任教員1名から0名に変更。
- ・「基礎看護技術Ⅱ」担当教員追加のため、教授0名から1名に変更。また同理由により講師0名から2名へ、助教0名から1名に変更。担当教員辞任のため、准教授2名から1名に変更。
- ・「基礎看護技術Ⅲ」担当教員追加のため、教授0名から1名に変更。また同理由により講師0名から2名へ、助教0名から1名に変更。担当教員辞任のため、准教授2名から1名に変更。担当兼任教員1名から0名に変更。
- ・「基礎看護技術Ⅳ」担当教員追加のため、教授0名から1名に変更。また同理由により講師0名から2名へ、助教0名から1名に変更。担当教員辞任のため、准教授2名から1名に変更。
- ・「基礎看護学実習Ⅰ」担当教員追加のため、教授0名から1名に変更。また同理由により講師3名から7名へ、助教2名から4名に変更。担当教員辞任のため、准教授2名から1名に変更。
- ・「基礎看護学実習Ⅱ」担当教員追加のため、教授0名から1名に変更。また同理由により講師3名から7名へ、助教2名から4名に変更。担当教員辞任のため、准教授2名から1名に変更。
- ・「成人看護学概論」担当教員辞任のため、教授2名から1名に変更。
- ・「成人看護活動論Ⅰ」担当教員辞任のため、教授1名から0名に変更。担当教員追加のため、准教授1名から2名へ、講師1名から2名に変更。
- ・「成人看護活動論Ⅱ」担当教員辞任のため、教授2名から1名に変更。また同理由により講師2名から1名に変更。担当教員追加のため、准教授0名から1名に変更。
- ・「成人看護活動論Ⅲ」担当教員辞任のため、教授2名から1名に変更。担当教員追加のため、准教授0名から1名に変更。また同理由により講師1名から2名に変更。
- ・「成人看護学実習Ⅰ」担当教員辞任のため、教授2名から1名に変更。
- ・「成人看護学実習Ⅱ」担当教員辞任のため、教授2名から1名に変更。また同理由により講師1名から2名に変更。担当教員追加のため、准教授0名から1名に変更。また同理由により講師1名から2名に変更。
- ・「小児看護学概論」担当教員追加のため、教授0名から1名に変更。担当兼任教員1名から0名に変更。
- ・「小児看護活動論Ⅰ」担当教員追加のため、教授0名から1名に変更。
- ・「小児看護活動論Ⅱ」担当教員追加のため、教授0名から1名に変更。
- ・「小児看護学実習Ⅰ」担当教員追加のため、教授0名から1名に変更。
- ・「小児看護学実習Ⅱ」担当教員追加のため、教授0名から1名に変更。
- ・「母性看護学概論」担当教員辞任のため、教授1名から0名に変更。また担当教員追加のため、准教授0名から1名に変更。
- ・「母性看護活動論Ⅰ」担当教員辞任のため、教授1名から0名に変更。担当教員追加のため、准教授0名から1名へ、助教0名から1名に変更。
- ・「母性看護活動論Ⅱ」担当教員辞任のため、教授1名から0名に変更。担当教員追加のため、准教授0名から1名へ、助教0名から1名に変更。
- ・「母性看護学実習」担当教員辞任のため、教授1名から0名に変更。担当教員追加のため、准教授0名から1名へ、助教0名から1名に変更。
- ・「精神看護活動論Ⅰ」担当教員追加のため、講師0名から1名に変更。
- ・「精神看護活動論Ⅱ」担当教員追加のため、講師0名から1名に変更。
- ・「精神看護学実習」担当教員追加のため、講師0名から1名に変更。
- ・「医療安全学」担当兼任教員辞退のため、2名から1名に変更。
- ・「看護管理学」担当兼任教員辞退のため、2名から1名に変更。
- ・「家族看護学」担当教員追加のため、教授0名から1名に変更。
- ・「スピリチュアルケア論」担当教員追加のため、准教授0名から1名に変更。担当兼任教員1名から0名に変更。
- ・「実践総合演習(OSCE)」担当教員追加のため、講師3名から7名へ変更。また、同理由により助教2名から4名に変更。
- ・「看護統合実習」担当教員辞任のため、教授7名から6名に変更。担当教員追加のため、准教授4名から5名へ、講師3名から7名へ、助教2名から4名に変更。
- ・「医療機器と在宅技術Ⅰ」担当兼任教員追加のため、1名から4名に変更。
- ・「災害看護学」担当教員追加のため、講師0名から1名に変更。
- ・「災害看護活動論」担当教員追加のため、講師0名から1名に変更。担当兼任教員1名から0名に変更。

【平成30年度】

- ・「スタディスキル」担当教員追加・昇格のため、教授6名から8名に変更。また担当教員辞任のため、准教授5名から2名に変更。兼任・兼任2名追加。
- ・「心理学」担当兼任教員の辞任のため担当兼任1名、担当兼任教員2名に変更。
- ・「政治学」担当兼任教員辞任のため1名に変更。
- ・「経済学」担当兼任教員辞任のため1名に変更。
- ・「英語Ⅰ」ブレイスメントの結果により担当兼任教員1名に変更。
- ・「英語Ⅱ」ブレイスメントの結果により担当兼任教員1名、担当兼任教員2名に変更。
- ・「文章表現技術」担当兼任教員辞任のため担当兼任教員6名に変更。
- ・「プレゼンテーション技術」担当兼任教員辞任のため担当兼任教員2名追加。
- ・「疾病治療学Ⅰ（内科系）」担当兼任教員4名（担当兼任教員2名が未決定）。
- ・「保健医療福祉行政論Ⅰ」担当兼任教員追加のため、1名から2名に変更。
- ・「保健医療福祉行政論Ⅱ」担当教員追加のため、教授0名から1名に変更。また担当兼任教員1名から0名に変更。
- ・「健康教育学」担当教員辞任のため、准教授1名から0名に変更。
- ・「基礎看護学実習Ⅰ」担当教員辞任のため、准教授7名から6名、助教1名から3名に変更。
- ・「基礎看護学実習Ⅱ」担当教員辞任のため、准教授7名から6名、助教1名から3名に変更。
- ・「成人看護活動論Ⅰ」担当教員昇格のため、講師2名から1名に変更。（准教授退任1名のため、准教授数変更無）
- ・「成人看護活動論Ⅱ」担当教員辞任のため、准教授1名から0名に変更。
- ・「成人看護活動論Ⅲ」担当教員昇格のため、講師2名から1名に変更。（准教授退任1名のため、准教授数変更無）
- ・「成人看護学実習Ⅰ」担当教員昇格のため、講師2名から1名に変更。（准教授退任1名のため、准教授数変更無）
- ・「成人看護学実習Ⅱ」担当教員辞任のため、准教授1名から0名に変更。
- ・「老年看護活動論Ⅰ」担当教員昇格のため、准教授1名から2名に変更。また講師1名から0名に変更。
- ・「老年看護活動論Ⅱ」担当教員昇格のため、准教授1名から2名に変更。また講師1名から0名に変更。
- ・「老年看護学実習Ⅰ」担当教員昇格のため、准教授1名から2名に変更。（助教追加1名のため、助教数変更無）
- ・「老年看護学実習Ⅱ」担当教員昇格のため、准教授1名から2名に変更。また講師1名から0名に変更。
- ・「老年看護学実習Ⅲ」担当教員昇格のため、准教授1名から2名に変更。また講師1名から0名に変更。
- ・「母性看護学概論」担当教員昇格のため、教授0名から1名に変更。また、准教授1名から0名に変更。
- ・「母性看護活動論Ⅰ」担当教員昇格のため、教授0名から1名に変更。また准教授1名から0名に変更。
- ・「母性看護活動論Ⅱ」担当教員昇格のため、教授0名から1名に変更。また准教授1名から0名に変更。
- ・「母性看護学実習」担当教員昇格のため、教授0名から1名に変更。また准教授1名から0名に変更。
- ・「精神看護学概論」担当教員辞任のため、准教授1名から0名に変更。
- ・「精神看護活動論Ⅰ」担当教員辞任のため、准教授1名から0名に変更。
- ・「精神看護活動論Ⅱ」担当教員辞任のため、准教授1名から0名に変更。担当兼任教員追加のため、0名から1名に変更。
- ・「精神看護学実習」担当教員辞任のため、准教授1名から0名に変更。
- ・「看護管理学」担当教員追加のため、教授0名から1名に変更。また担当兼任教員1名から0名に変更。
- ・「認知症ケア論」担当教員辞任のため、准教授1名から0名に変更。
- ・「スピリチュアルケア論」担当教員辞任のため、准教授1名から0名に変更。
- ・「実践総合演習（OSCE）」担当教員追加・昇格のため、教授6名から8名に変更。また担当教員辞任のため、准教授5名から2名に変更。担当教員追加・昇格のため、講師2名から6名に変更。また担当教員追加のため、助教2名から3名に変更。
- ・「看護統合実習」担当教員追加・昇格のため、教授6名から8名に変更。また担当教員辞任のため、准教授5名から2名に変更。担当教員追加・昇格のため、講師2名から6名に変更。また担当教員追加のため、助教2名から3名に変更。
- ・「医療機器と在宅技術Ⅱ」担当兼任教員1名を3名補充し、4名に変更。
- ・「災害看護学」担当教員昇格のため、准教授0名から1名に変更。また講師1名から0名に変更。
- ・「災害看護活動論」担当教員昇格のため、准教授0名から1名に変更。また講師1名から0名に変更。
- ・「看護研究Ⅱ」担当教員追加・昇格のため、教授6名から8名に変更。また担当教員辞任のため、准教授5名から2名に変更。
- ・「公衆衛生看護活動論」担当教員辞任のため、准教授1名から0名に変更。
- ・「公衆衛生看護管理論」担当教員辞任のため、准教授1名から0名に変更。
- ・「公衆衛生看護技術論」担当教員辞任のため、准教授1名から0名に変更。
- ・「公衆衛生看護学実習」担当教員辞任のため、准教授1名から0名に変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
74 科目	39 科目	0 科目	113 科目	74 科目 [±0]	39 科目 [±0]	0 科目 [±0]	113 科目 [±0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	英語 I	1	1前	一般	選択	プレイスメントテストの結果により、「英語Ⅱ」からスタートするため(27) 平成28年度は通常開講(28)
2	平成28年度該当なし					
3	平成29年度該当なし					
4	平成30年度該当なし					

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 (平成30年度該当なし)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						
4						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>共通基盤教育・英語基礎系「英語Ⅰ」については、プレイスメントテストの結果により、「英語Ⅱ」からスタートするため問題はない。学生への周知は、オリエンテーション及びクラス担任から伝えている。(27)</p> <p>平成28年度、平成29年度、平成30年度、授業科目の未開講又は廃止なし。</p>
--

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{1}{113} = \boxed{0.88} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	87,669.16㎡	0㎡	0㎡	87,669.16㎡				
	運動場用地	38,015.93㎡	0㎡	0㎡	38,015.93㎡				
	小 計	125,685.09㎡	0㎡	0㎡	125,685.09㎡				
	そ の 他	8,818.66㎡	0㎡	0㎡	8,818.66㎡				
	合 計	134,503.75㎡	0㎡	0㎡	134,503.75㎡				
(2) 校 舎	専 用	102,934.80㎡	0㎡	共用する他の学校等の専用 0㎡	102,934.80㎡	教育研究モデル生活棟新築(2632.47㎡：他学科使用)の為(28)建築計画と登記上の面積の誤差が生じたため(27)			
		400,302.33㎡			400,302.33㎡				
		400,677.69㎡			400,677.69㎡				
		(102,934.80㎡)			(102,934.80㎡)				
		-(100,302.33㎡)			-(100,302.33㎡)				
		-(100,677.69㎡)			-(100,677.69㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	77室	34室	94室	14室 (補助職員 3人)	1室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	看護学部 看護学科			25 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体の蔵書冊数約24万冊のうち、該当専門分野関連図書を約9千冊所蔵している。機械・器具の大学全体共用分は7,248点。	
	看護学部看護学科	4,920 [500] (4,920 [500])	105 [2] (105 [2])	2 [2] (2 [2])	75 (75)	5,602 (5,602)	24 (24)		
	計	4,920 [500] (4,920 [500])	105 [2] (105 [2])	2 [2] (2 [2])	75 (75)	5,602 (5,602)	24 (24)		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	5,021.54㎡		629席		232,000冊				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体		
	6,706.61㎡		野球場1面、サッカー場1面、テニスコート4面						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	申請学部全体 図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コスト含む)を含む
		教員1人当り研究費等	209千円	209千円	図書購入費	34,875千円	5,000千円	5,000千円	
		共同研究費等	1,344千円	1,344千円	設備購入費	244,363千円	10,000千円	10,000千円	
	学生1人当り納付金	第1年次 1,850千円	第2年次 1,670千円	第3年次 1,680千円	第4年次 1,690千円	第5年次 千円	第6年次 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8) 経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	神奈川県立工科大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
工学部									
機械工学科	4	120	—	480	学士(工学)	1.13	昭和50年度	神奈川県厚木市下荻野1030番地	
電気電子情報工学科	4	78	—	296	学士(工学)	1.12	昭和50年度	同上	入学定員：平成27・28年度は70名
応用化学科	4	60	—	240	学士(工学)	1.09	昭和50年度	同上	
臨床工学科	4	40	—	160	学士(工学)	1.10	平成27年度	同上	
情報学部									
情報工学科	4	155	—	590	学士(工学)	1.11	平成15年度	同上	入学定員：平成27・28年度は140名
情報ネットワーク・コミュニケーション学科	4	100	—	390	学士(工学)	1.07	平成16年度	同上	入学定員：平成27・28年度は95名
情報メディア学科	4	165	—	630	学士(工学)	1.15	平成16年度	同上	入学定員：平成27・28年度は150名
創造工学部									
自動車システム開発工学科	4	55	—	210	学士(工学)	1.03	平成20年度	同上	入学定員：平成27・28年度は50名
ロボット・メカトロニクス学科	4	50	—	180	学士(工学)	1.16	平成20年度	同上	入学定員：平成27・28年度は40名
ホームエレクトロニクス開発学科	4	40	—	160	学士(工学)	1.19	平成20年度	同上	
応用バイオ科学部									
応用バイオ科学科	4	125	—	490	学士(工学)	1.07	平成20年度	同上	入学定員：平成27・28年度は120名
栄養生命科学科	4	80	—	320	学士(栄養学)	1.06	平成22年度	同上	
看護学部									
看護学科	4	80	—	320	学士(看護学)	1.09	平成27年度	同上	

既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍		
工学研究科博士前期課程								
機械工学専攻	2	14	-	28	修士(工学)	0.78	平成元年度	神奈川県厚木市下荻野1030番地
電気電子工学専攻	2	16	-	32	修士(工学)	0.75	平成元年度	同上
応用化学・バイオサイエンス専攻	2	16	-	32	修士(工学)	1.12	平成元年度	同上
機械システム工学専攻	2	14	-	28	修士(工学)	0.76	平成2年度	同上
情報工学専攻	2	18	-	36	修士(工学)	1.30	平成5年度	同上
ロボット・メカトロニクスシステム専攻	2	6	-	12	修士(工学)	1.00	平成22年度	同上
工学研究科博士後期課程								
機械工学専攻	3	2	-	6	博士(工学)	0.25	平成5年度	同上
電気電子工学専攻	3	2	-	6	博士(工学)	0.50	平成6年度	同上
応用化学・バイオサイエンス専攻	3	2	-	6	博士(工学)	0.25	平成5年度	同上
機械システム工学専攻	3	2	-	6	博士(工学)	0.62	平成5年度	同上
情報工学専攻	3	2	-	6	博士(工学)	0.75	平成8年度	同上

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
12 名	6 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)
8	4	7	4	23	8	2	6	3	19	8	3	7	3	21
(7)	(4)	(7)	(4)	(22)						[±0]	[Δ1]	[±0]	[Δ1]	[Δ2]

※現在、審査中（2名）含む。

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記(B)）の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
教授・准教授・講 師 65 助教 60 歳	4 名	4 名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{21}{23} = \boxed{91.3} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{4}{19} = \boxed{21.05} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由							
合計 (F)													
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		後任補充状況の集計 (G)								
					①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)						
12	人	必修	110	科目	必修	90	科目	必修	0	科目	必修	20	科目
		選択	7	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	7	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	117	科目	計	90	科目	計	0	科目	計	27	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)									
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)		③の合計数 (c)						
17	人	必修	148	科目	必修	127	科目	必修	0	科目	必修	21	科目
		選択	13	科目	選択	6	科目	選択	0	科目	選択	7	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	161	科目	計	133	科目	計	0	科目	計	28	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{17}{23} = \boxed{73.9} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況 (該当なし)

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

大学の所見として、授業や国家試験の学習、看護師としての技術修得に影響ないように対応する。その周知については、看護学科のオリエンテーション及びクラス担任から学生に伝えている。

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成26年10月)	教員の補充を必要とされた1授業科目については、科目開講時までに確実に専任教員を配置して教員を充足すること。	留意事項 適任者の配置に向け鋭意努めている。(27) 平成29年9月科目開講にあたり、専任教員を配置。平成28年3月専任教員採用等設置計画変更書提出済。(28)	科目開講時までに専任教員の配置を行う。(27)
設置計画履行状況 調 査 時 (平成28年2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成29年2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年2月)	該当なし		

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、当該大学に付された意見を全て記入するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。

その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。

・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。

・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<看護学部 看護学科>

(1) 設置計画変更事項等 (特になし)

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

教務委員会(規程別添①参照)

教育開発センター(規程別添②参照)

学科内の委員会

- ・ 学科教務委員会 (内規：平成28年4月1日制定)
- ・ カリキュラム検討委員会 (内規：平成28年4月1日制定)
- ・ FD委員会 (内規：平成28年3月9日制定)

b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む)

教務委員会：月に1回(その他臨時)、委員として全学科より1～2名ずつ選出・教育開発センター所長出席

教育開発センター：月に1回(その他臨時)、所員を選出・教育開発センター所長

学科内の委員会

- ・ 学科教務委員会：月に1回(その他臨時)、委員として全看護学領域より1～2名ずつ選出
- ・ カリキュラム検討委員会：年間3～4回(その他臨時)、委員として全看護学領域より1名ずつ選出
- ・ FD委員会：年間3～4回(その他臨時)、委員として4名選出

c 委員会の審議事項等

教務委員会：学籍、非常勤講師委嘱、単位認定、カリキュラム、履修・成績等の審議及び報告・連絡

教育開発センター：教育のPDCA、FD・SDの企画立案、実施、検証

学科内の委員会

- ・ 学科内教務委員会：大学教務委員会との協働、時間割の作成、成績管理、非常勤講師の対応
- ・ カリキュラム検討委員会：学科カリキュラムの課題抽出と今後に向けた検討
平成31年度施行の「コア・カリキュラム」を踏まえたカリキュラム変更検討
- ・ FD委員会：学科教職員の資質の向上に関する事項(教育開発センターとの協働、研修会、講習会の開催)

② 実施状況

a 実施内容

- ・キャリア就職課と連携し「学生へのキャリア・就職支援」を題材に研修を9月に開催。
看護師採用の最新事情と今後の採用環境を知る、本学科の学生気質を共有し就職支援への指導方法の示唆を得るを目標にキャリアスタの講師を招き講演会とその後のグループワークを行う。
- ・初めての領域実習を終えた3月、「臨地実習の指導方法について-事例検討会-」を行う。
臨地実習指導における他の教員の教育観や指導観を共有することができる、自己の臨地実習指導を振り返り、本学学生の指導方法の示唆を得ることができることを目標に、各領域からのプレゼンテーション後、グループワークで「学生の傾向とその指導方法について」討議をした。

b 実施方法

- ・講演およびグループワーク、その後の討議、質疑応答

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・本学内にて開催 教員参加率100%

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・就職活動に関しては、キャリア就職課と連携を密に行い、学生面談によりインターシップへの参加を呼び掛け、早めの就職活動を開始するよう促す。
- ・他領域の実習で効果があった指導法については、今後どの領域でも取り入れ検討する。
学生の書籍利用の苦手が浮き彫りになったため、調べ学習（SNSではない）の書籍利用を促す。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

実施している。前期・後期の授業終了時に実施。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート結果は教務委員会及び教育開発センター会議で示し、全学教員のコメントを「より良い教育を目指して」に掲載し、次年度の授業構築に活用している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

豊かな人間性の形成により、生命の尊厳を基調とした倫理観を身につけ、看護技術に関する専門技能を有して、看護技術の革新に推進やそれに役立たせることを職業とし、地域社会の保健・医療・福祉の向上に貢献することができる人材を養成することを目的として設置した。

カリキュラムは教養教育及び専門分野の基礎・基本を重視して、講義・演習・実習と連動し、既設の工学部や情報学部において構築したICTを活用した授業運営や教育方法等を取り入れ充実しており、目的については計画通りに達成されている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成31年1月1日 公表

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、教職員全員及び希望があった学生に各1冊を配布のほか、関連大学および厚木中央図書館へ配付
- ・大学ホームページ上に公開予定（平成31年1月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成30年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受けるため、4月に点検・評価報告書を提出済。

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（4）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 （ 有 ・ 無 ）

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 （平成30年 8月 1日 ）

（注）・「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。